

京極町の目指す子ども像 （京極町教育行政執行方針）

ふるさと京極の未来を思い、語れる子

1 学校教育目標

知恵をつないで創造する生徒の育成

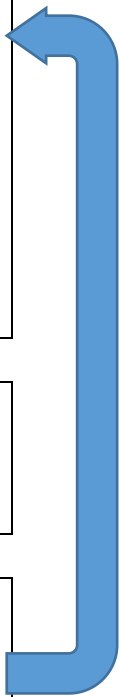
2 今年度のスローガン

探究

3 指導の重点

	知恵	つなぐ	創造
(1) 生徒に 育てたい 力	◎知識や技能を課題 解決に生かす力 - 問題発見 - 課題設定 - 企画・計画 - 遂行	◎知識や技能、人 をつなげる力 - 協働 - コミュニケーション - 合意形成	◎「よりよい」を創 り出す力 - イノベーション - 試行錯誤 - 社会課題の解決
(2) 教職員が 高めたい 力	○生徒の学びをファ シリテートする力 - 生徒主体の探究活動 - アクティブラーニング	○生徒のつながり を支援する力 - 発達支持的生徒指導 - 心理的安全性	○生徒の変容を価値 付けする力 - 新奇歓迎 - スクラップアンドビルド
(3) 当面の 重点目 標	☆見通しを立てて活動し、 振り返りを次に生かすことができる。	☆自他を尊重し、自分の 思いを伝えることができる。	☆豊かな発想で挑戦し、 粘り強く取り組むことができる。
	※令和5年度学校評価を踏まえて設定。達成状況により修正。		
(4) 評価 方法と 指標	◇生徒アンケート ⇒ 該当の項目で肯定的な回答が90%以上で A ◇保護者アンケート ⇒ 該当の項目で肯定的な回答が80%以上で A ※下記のデータも活用 □全国学力学習状況調査 □いじめアンケート □生活リズムチェックシート □QU や標準学力検査		

4 経営の重点

(1) 基本姿勢	！一人ひとりが最大の教育環境・・・「子どもは無自覚に学習」 敬意・礼節・率先垂範 ⇒ □調・態度・呼称・マナー・整頓整頓 ！組織的な運営・取組み・・・「チームで業務推進」 ゴールの共有・協働・相互補完 ⇒ 確連報・検証改善サイクル意識 ！学びの実践者・・・「子どもと自分の将来のためにスキルアップ」 主体的な研修 ⇒ 各種研修への積極参加・研修ログ・全体実践 ※おもな全体研修 □教育相談 □服務 □特別支援教育
(2) 貫くこと	『目・声・問い』を掛けて、考えさせ、語らせ、決めさせる ～どうした・どうする・先生にできることは⇒意思表示と自己決定～ ○生徒主体・・・一緒にいて見守り支援・学びをファシリテート ○心理的安全性の醸成・・・発達支持的生徒指導・自他の尊重 ○積極的に評価・・・生徒の姿で振り返り・小さな変容を価値付け
(3) 学校運営の基本	◎校務運営委員会を中核とする検証改善のためのAARサイクル Anticipation ～見通し・予測・段取り～ ①校務運営委員会 ⇒ 成果・課題や方向性の確認 ②グループ会議・学年部会 ⇒ 具体的な立案や検討 ！育成する資質・能力 ！みんなで徹底すること ③校務運営委員会 ⇒ 具体の検討・重点との整合性の確認 ④職員会議 ⇒ 徹底事項の協議・確認 ↓ Action ～実践・徹底～ ⑤実践 ⇒ チーム意識・徹底 ↓ Refrection ～振り返り・改善～ ⑥業務評価・成果や課題・改善策 ⇒ 次につなげる具体 ！生徒の姿で振り返り ！できることはすぐに 
(4) 業務分掌組織	◎2グループ（部会）を基本 ⇨ 詳細は後掲 【確かな学びをつなぐグループ】 ・教務に関わること ・教育環境に関わること 【豊かな心をつなぐグループ】 ・生徒指導に関わること ・保健給食に関わること

5 重点目標達成のための推進事項 ※チーム意識で企画・実践・検証・改善

(1) 自ら課題を選択して取り組む学力・体力の向上 ◎「見方・考え方」をはたらかせながら探求する力を高める授業改善 ◎デジタル教材の効果的活用の推進 ◎地域移行を見据えた生徒の自立的な部活動 ○諸テストや検査の指導改善への活用 ○望ましい学習習慣・生活習慣づくり ○生徒主体の体力向上の取組
(2) 自他の尊重と自己有用感の高揚 ◎人権意識を高める学級・生徒会活動（いじめ見逃し〇・仲間づくり） ◎生徒主体の企画・運営による学校行事 ○話し合いSTANDARDに基づくよりよい合意形成 ○考え、議論する道徳の授業を要とした道徳教育の推進 【道徳教育の重点】〈 〉〈 〉〈 〉〈 〉 ○3年間を見通したリーダー育成と縦割り活動
(3) 社会参画につなげる探究活動 ◎探究型の総合的な学習の時間の展開 ◎生き方を考える進路学習（キャリアノートの有効活用） ○CS と連携した地域の教育資源や外部講師活用 ○命を守る安全教育（防災・防犯・交通安全・命の教育） ○地域活動やボランティアへの参画
(4) 多様な背景を持つ子どもへの支援 ◎教職員の研修の充実・促進 ・特別支援 ・教育相談 ・SOGI ・不登校 ・ヤングケアラー ○個別の指導計画・支援計画の整備 ○関係機関との連携
(5) 9年間を見通した学校間連携 ◎小学校との授業交流 ◎乗り入れ授業 ○町教研部会との連携推進
(6) 教育の質を高めるための働き方改革 ◎プロセスシートの作成と計画的な業務推進 ○ICT や C4th のより効果的な活用の検討・推進・先進事例研修
(7) 学校応援団をつくるための保護者・地域との連携 15の春の姿「夢・思いやり・心身ともに健康・自信」を共有しながら（学校運営協議会） ◎迅速な情報共有と誠実な対応（事実・指導内容・方針・協力依頼） ◎生徒の姿が伝わる情報発信（各種通信・お便り・懇談資料） ◎機会を捉えて学校をよりよくアピール（参観週間・行事・地域活動） ◎PTA 活動の充実（エントリ制・保護者主体の活動・子育ての研修）

6 小中共通の評価項目 ～子どもを見つめる15の視点～

	目指す15の春の姿（学校運営協議会より）	評価項目
①	難しいことにチャレンジ	挑戦心
②	粘り強く最後まで	忍耐力
③	仲間といっしょに問題解決	協働
④	学びを生かして問題解決	探究心
⑤	相手の立場になって	相手意識
⑥	自分の考えを説明できる	論理的思考・洞察力
⑦	困っている人を進んで助ける	思いやり
⑧	多様な考えを受け入れる	多様性への理解
⑨	いじめに対して正しい行動	判断力・思慮深さ
⑩	進んで運動に親しむ	健康・体力
⑪	規則正しい生活	健康・食育
⑫	将来の生き方を考える	自己理解 キャリアプランニング能力
⑬	防災や防犯について自ら判断し安全な行動	自助・共助・公助
⑭	地域をより良くするための行動	地域貢献・社会の創り手
⑮	読書で考えを広げる	考え・感じ・創造する力